

令和7年12月23日（火曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（総務）

議会会議室

出席議員

西本眞造、金内義和、山口 悟、石堂大輔、
三和 衛、竹中由佳、嶋谷秀樹、小田響子

出席高校生

賢明女子学院高等学校 5人、
淳心学院高等学校 3人

開会 9時59分

委員長挨拶 9時59分

出席者紹介 10時00分

意見交換 10時03分

〇テーマ

・市民からの関心を高めるための広報

「姫路市からの情報発信をしていますか」

（委員長）

両校から資料に基づき、本テーマに関する提案をしたいとの申出を受けているので、説明を受けることとする。

（高校生）

【淳心学院高等学校が資料に基づき説明】

【賢明女子学院高等学校が資料に基づき説明】

（議員）

先ほどの説明にあったSNSを活用した広報は、作成前に周知しなければならないという意見はそのとおりだと思った。

絵本を活用した広報は斬新だ。アナログ式の広報にあえて絵本を活用することで子どもも対象にできることがよかった。

（議員）

播州弁の話が出たが、高校生が思う播州弁のイメージが自分と違って驚いた。

私が住んでいる的形地域は播州弁が強い地域で、昔の人が使っていた言葉を全てまとめた的形の言葉辞典があるので見てほしい。

広報紙に絵本を活用することは、デジタル式広報とアナログ式広報の両方にとって今後重要なことだと思う。

（議員）

姫路市のSNSは再生回数が少ない。行政が発信し

ているということで、面白くないのではないかと。有名なインフルエンサーや自分が興味のあるSNSは再生回数も多いと思うが、その違いをどのように埋めればよいか教えてほしい。

市民は播州弁を聞き慣れているが、県外の人が聞くと怒っているように聞こえるので、発信の仕方は気をつけないといけないと思っている。面白おかしくするのであればいいが、発信の仕方が難しいと思う。

（議員）

播州弁の話は斬新だと感じていたが、関西弁が全国的に広がっているため、名古屋や九州の方言みたいにコンテンツとして面白くなる方法を具体的に教えてほしい。

絵本の活用はよいと思ったが、漫画ではどうか。

そもそも市民が姫路市の情報を知りたいと思っているのか、高校生の情報の取得方法を教えてほしい。

（議員）

先ほど説明にあったSNSを開設したことの周知については、姫路市の広報の根本的な課題を指摘されたと思う。両校で高校生広報会議みたいなことを市のイベントとして実施できるのではないかと感じた。

広報ひめじは文字が多すぎるので、QRコードの活用や説明にあった絵本の活用ができればいいと思う。

率直に姫路市の広報の駄目出しをしてほしい。

（議員）

今回の座談会にあたって姫路市の広報を閲覧したと思うが、率直に姫路市の広報が駄目だと感じた人はいるか。

（大半が挙手）

（議員）

播州弁は普段使用しているか。

（高校生）

使わない。

（議員）

若い世代に播州弁を使ってもらうにはどうすればよいか。SNSのツールの1つとして使えたらいいと思うが、高校生の知恵を貸してほしい。

広報ひめじを読みやすくすることや、市民参加型にするという意見は、もっともだと思う。発信の仕方が古い考え方になるので、高校生の柔軟な考え方を取り入れながら発信していくことは、実施していかないと

いけないと思った。

(委員長)

高校生の意見は広報課の職員にとって耳が痛いと思う。実際はやっているが、市民に届いていないというのが課題である。

高校生の意見で文字を削減する案があったが、掲載したい情報が多いので、紙面いっぱいの文字となっていると思う。

先ほど議員から質問のあった姫路市の広報の駄目出しを教えてほしい。

(高校生)

千葉県のSNSは、流行りの音楽に合わせてマスコットキャラクターのチーバくんが千葉の名所で踊っている動画を上げているが、姫路市も発信するだけでなく、流行に乗った広報をしていくといいと思う。

(高校生)

Instagramのフォロワーを増やすことで、別の広報媒体の閲覧者が増えることにつながると思う。

(高校生)

姫路出身の有名なインフルエンサーを招待して盛り上げてもらうことがよいと思う。

(高校生)

今回の座談会に当たって市のInstagramを見たが、発信内容が堅いと思った。Instagramを見る若い世代に市のことを知ってほしいならばもう少しカジュアルな内容にしたほうがよい。対象の世代を変えるのはどうか。

(高校生)

私も堅いと思った。他の情報と比べてお金に関する情報の再生回数が多かったため、そのような情報を発信することがよいと思う。

動画の再生はタイトルとサムネイルで決まるものがほとんどなので、「～すぎる」や「～してみた」などのタイトルをつけたら再生回数が増えると思う。

(高校生)

私も堅いと思った。議員や行政は真面目なイメージがあるのでInstagramなどで少しずつ変えていったほうがよい。私たちの学校が出しているInstagramも初めは再生回数が伸び悩んで苦戦していたが、同じパターンにならないように投稿の仕方やストーリーを毎回工夫している。

(高校生)

市のInstagramでは新しくできた飲食店を掲載しているが、あまり行きたいと思える内容ではない。ティックトックなどの動画なら見たいと思うが、写真が1枚だけあっても本当に美味しいか分からない。もっと動画を上げたほうがよい。

(高校生)

市はユーチューブを使用した広報をしているが、そもそも存在を知らなかった。今回初めて見て投稿は興味深いものがあったので、もっと周知したほうがよい。ユーチューブは幅広い世代が見るので、対象を広げると再生回数が増えると思う。

(議員)

高校生の意見を聞いてそのとおりだと思った。市の広報課の職員はInstagramなどのSNSに関して、ド素人だと思う。ある程度業者に外注するか、若い世代と広報課で勉強会をしてもらいたい。

(議員)

高校生の意見にあったとおり、市のSNSは面白くないと思う。市のSNSは高齢者の閲覧も想定している考え方だと思うが、Instagramやユーチューブはターゲットを絞ったほうがよいと感じた。

(議員)

市のSNSでどのような情報がほしいと思うか。

(高校生)

飲食店の情報はほかのInstagramから情報を得るので、必要ない。行政にしかできない情報の発信があれば見ると思う。

(議員)

広報課の職員も迷っていると思う。

議員やキャラクターが踊る動画は行政のブランドづくりに貢献していると思うので、姫路市のInstagramもブランドづくりという考えがいるのではないかと。

(議員)

若い人は普段行政のSNSを見ることはないと思う。私も市のホームページを見るときは何か目的があって調べる際に使用するが、目的がなければ見ることはない。そもそも市のホームページやLINEで情報発信をするのはよいが、Instagramは姫路市を対外的にPRするツールなので目的が違ふと思う。

(委員長)

先日、総務委員会で行った視察先では、まずインナープロモーションをしっかりと実施した上で、対外的な発信をしていた。私も姫路城に行った後どこに行けばいいのかと問われると即答できないことがあると思うので、自分のまちを知っておくことは重要だと思う。

(議員)

行政が発信する情報は災害情報など堅い内容になってしまうが、例えば発信者が有名なインフルエンサーであれば、情報が堅くても見てみようと思うか。

(高校生)

見たいと思う。

(議員)

発表にあったSNSのアンケート機能を活用して、行政のテーマを市民がリクエストするという案は非常にいいと思った。アンチコメントなどの対策は必要だが、ルールを決めて実施すれば非常にいいと思う。

(議員)

高校生が運用している学校のInstagramにアンチコメントはあるのか。

(高校生)

コメントはできないようになっている。

(議員)

両校の発表を併せて、播州弁の絵本などを作成するとよいのではないか。

(高校生)

山陽姫路駅の前にある大型モニターに播州弁と標準語の違いが分かる広告を流しているが、そのようなものを見ることで播州弁の理解が深まるので、もっと発信したほうがよいと思う。

(議員)

この座談会に当たって姫路市の公式LINEを登録したか。

(高校生)

していない。

(議員)

広報課が友達登録の目標を何万人と設定しているが伸び悩んでいる。何か良い案はないか。

(高校生)

公式LINEは通知が多いので、通知をオフにする

か削除する。一方的に情報を送られても確認したら削除する。

(議員)

プッシュ型の情報は不必要であることを理解した。自分が欲しい情報をすぐに取りに行けることが重要で、公式LINEは行政側の都合で情報を送っている。

(議員)

ほかの自治体では公式LINEを登録した方限定にスタンプを贈呈する事例があるが、その場合公式LINEに登録しようと思うか。

(高校生)

スタンプが欲しいので登録はするが、その後削除する。

(議員)

高校生が姫路市に求める情報はどのようなものか。

(高校生)

クーポンが欲しい。

(議員)

例えば行政以外が発信しているクーポンもあるが、必要のないクーポンがほとんどである。そのようなクーポンでも必要か。

(高校生)

飲食店であればうれしい。

(高校生)

しらさぎPayがもらえるとうれしい。

(議員)

世代ごとに必要な情報を分けて発信する必要があるのではないか。SNSは情報発信というカテゴリでは一緒だが、全世代向けの情報やターゲットを絞った情報がある。

(議員)

高校生が興味を持って毎日見たいと思える情報はどのようなものか知りたい。

時々見るだけの情報であれば、公式のSNSをあまり見る必要はないが、市の情報を発信していくにはどうすればよいか。

(高校生)

市長や議員の活動を全く知らないなので、1日の活動を動画で投稿してほしい。

(議員)

それは1回見たら見なくなるのではないか。

(議員)

公式SNSを見るきっかけになるのではないかと。災害時など必要なときの情報につながればよい。

(議員)

発表にもあったが、若い世代が発信者側に入ることが重要だと思う。座談会に参加して議員と話しているだけでもすごいことだと思うが、広報課の職員と直接話したほうがよりよい方向に進むのではないかと。

(委員長)

予定の時間となったので座談会を終了する。

意見交換終了	11時25分
副委員長挨拶	11時28分
閉会	11時31分